

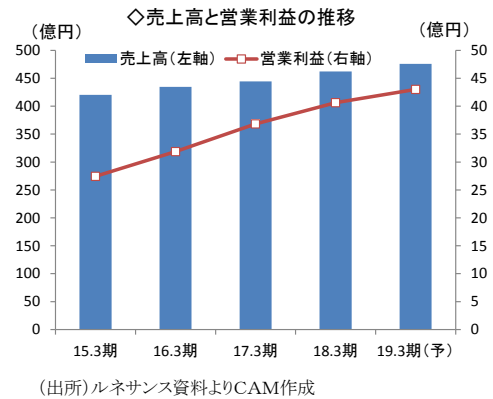
企業ニュース ルネサンス

(東証1部 : 2378) <https://www.s-rennaissance.co.jp>

作成者: 奥村義弘

「生きがい創造企業」を企業理念とする

1979年、大日本インキ化学工業（現D I C）の企業内ベンチャー事業として「ルネサンステニススクール幕張」をオープン。1982年、D I Cの100%出資によりディッククリエーションを設立。1992年、ディックルネサンスに社名変更。2003年、現社名となった。現在はフィットネスクラブ、スイミング・テニス・ゴルフスクール等のスポーツクラブ事業、自治体や企業等での健康づくり事業、介護リハビリ事業、他関連事業を手掛ける。「生きがい創造企業」を企業理念としている。2018～2020年度の中期経営計画では、収益性・安定性を両立させた積極投資で、成長と企業価値の向上を目指している。売上高営業利益率10%へ到達後維持、自己資本比率50%などを目標とする。



業績は底打ち、回復へ

19.3期・第3四半期累計(4-12月)の連結業績は売上高が344億5,100万円、前年同期比0.2%増、営業利益が27億8,100万円、同5%減。既存事業はおおむね当初計画通りの推移である。減益の要因は11月に2施設を開設したことによる費用増、熊本で建て替えのための閉店、大阪の自然災害の影響などである。マイナス要因を吸収して期末の会員数は前年同期比で増加した。新規事業ではリハビリに特化した通所介護施設「元氣ジム」を直営で2施設、フランチャイズで3施設オープンした。この他脳卒中特化型デイサービスの直営施設1号店をオープン、自治体や民間企業の健康関連では「フィットネス&スパ『温泉(オラ)』」の開業支援などを進めている。

19.3期の通期会社計画は、売上高が476億円、前期比3%増、営業利益が43億円、同6%増。テニスやスイミングのスクール事業では有名選手の活躍などもあり、業績は堅調に推移している。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴うスポーツ熱の高まりにも期待できよう。また、大阪で一時営業を停止していた施設の再開や新規開設の効果などで業績は上向こう。新規事業ではリハビリ特化の「元氣ジム」の展開にも期待できる。

[株価動向・投資判断]

1月の自社株買い発表は株価支援材料。健康を通じた社会的な貢献度の高さにも注目したい。

<2378 ルネサンス 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.3	44,449 (2)	3,682 (16)	3,512 (20)	1,969 (29)	132.0	28.00
18.3	46,229 (4)	4,062 (10)	3,801 (8)	2,374 (21)	144.6	33.00
19.3 予	47,600 (3)	4,300 (6)	4,000 (5)	2,500 (5)	153.6	35.00



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価(2019/2/18)	1,974 円
昨年来高値(高値日)	2,638 円(18/10/10)
同 安値(安値日)	1,705 円(18/2/6)
予想 P E R (19.3 予)	12.9 倍
1株株主資本(PBR算出用)	988.3 円
P B R	2.00 倍
予想配当利回り	1.77 %
(1株当たり配当金35.00円)	
R O E (18.3)	19.7 %
発行済み株式数	2,138 万株